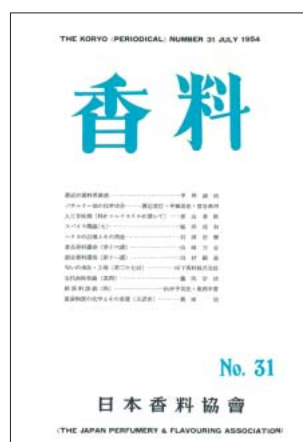


第31号 1954.6

- 最近の香料業界雑感 (平野譲治)
- バチユリー油の化学成分 (渡辺克己・平塚清次・富谷典明)
- 人工甘味剤(特にシュッカリルに就いて) (青山寿雄)
- スパイス概論(七) (桜井邦和)
- ハクカの品種とその用途 (石原活磨)
- 食品香料講座(第一六講) (山崎三吉)
- 調合香料講座(第一一講) (田村禎造)
- 匂いの商社工場(第二七回) (山下香料株式会社)
- 古代肉桂史論(其四) (藤田安二)
- 続香料談義(四) (田中予司光・奥西平曹)



第32号 1954.8

- ジュースに就いて (塩入英次)
- 香料食品の研究(一) アイスクリーム (白石昌美)
- 精油、香料に応用されたクロマトグラフィー (桂重雄)
- スパイス概論(八) (桜井邦和)
- 食品香料講座(第一七講) (山崎三吉)
- 匂いの商社工場(第二八回) (株式会社宮坂商店)
- 「におい」の心理(一) (高橋正夫)
- 古代肉桂史論(其五) (藤田安二)

第33号 1954.12

- ジャスミン (藤田安二)
- アセチレン系香料の合成—ヘプテンカルボン酸メチルの合成— (石川清一・山本英十)
- 原料を中心とした合成香料化学(一〇) ベンゾール (桂樹日出雄)
- 匂いの商社工場(第二九回) (香栄興業株式会社)
- 「におい」の心理(二) (高橋正夫)
- スパイス概論(九) (桜井邦和)
- 雑草を嗅ぐ鶏 (長沢徹)
- 欧州の香料をたづねて (刈米達夫)

第34号 1955.2

- 臭気の科学(一) (長沢徹)
- 麝香を徹から (諸江辰男)
- 匂いの商社工場(第三〇回) (栄香料株式会社)
- ムスク・キシロールの合成 (堀口博)
- 最近の文献にあらわれた二三の興味ある酸化法(其の一) (寺井得郎)
- 「におい」の心理(三) (高橋正夫)
- 古代肉桂史論(其六) (藤田安二)
- 匂う北海道 (橋爪檳榔子)

第35号 1955.3

- 工業的にみた「はっか」化学の動向 (伊藤昌明)
- 独乙に於ける合成樟脳 (桂重雄)
- 原料を中心とした合成香料化学(一一)トルオール (桂樹日出雄)
- 臭気の科学(二) (長沢徹)
- 猫の鼻 (長沢徹)

第36号 1955.6

- 臭気の科学(三) (長沢徹)
- 香料食品の研究(二)ソフト・ビスケット (白石昌美)
- 赤外線吸収スペクトルと香料 (印藤元一)
- 古代肉桂史論(其七) (藤田安二)
- 巴里の香り (金久保道子)

第37号 1955.9

- 台湾への旅 (平泉貞吉)
- 「におい」の心理(四) (高橋正夫)
- 匂いの商社工場(第三一回) (高砂香料工業株式会社平塚工場)
- 原料を中心とした合成香料化学(一二) ベンズ・アルデヒド (桂樹日出雄)
- 欧州旅行記(一) (山本芳朗)

第38号 1955.12

- アズレン化学の概略と応用研究 (奥田治)
- フレオンと香料 (加藤薫)
- 食品香料講座(補足)第一講 (山崎三吉)
- 昭和二七、二八、二九年度香料生産、輸出入統計
- 欧州旅行記(二) (山本芳朗)
- 果物ものがたり(一) (野坂讓)

第39号 1956.3

- 香料としてのラクトン綜説(上) (阪口啓一)
- 日本産アビエス油に就いて (山下武夫)
- 日本産はっか油のメントフラン含有について (波多野秀頼・金子雄三)
- 匂いの商社工場(第三二回) (関東香料株式会社)
- 嗅覚に於ける順応の問題に就いて (田崎敬・女川清・田中建吾)
- 各種香料の呼吸運動に及ぼす影響に就いて (田崎敬・女川清・栗原恒夫・田中建吾・高橋恒夫)
- 古代肉桂史論(其八) (藤田安二)

第40号 1956.5

- 原料を中心とした合成香料化学(一三)キシロール (桂樹日出雄)
- チグラー・ハフナー両氏によるアズレン合成法 (桂重雄)
- 香料としてのラクトン綜説(下) (阪口啓一)
- 匂いの商社工場(第三三回) (株式会社田中安香料店)
- 食品香料講座(補足)第二講 (山崎三吉)
- 雑草を嗅ぐ (長沢徹)
- 果物ものがたり(二) (野坂讓)